



おおねじぬ

昭和60年1月号

No.384



発行 肝属郡大根占町役場 題字町長

迎

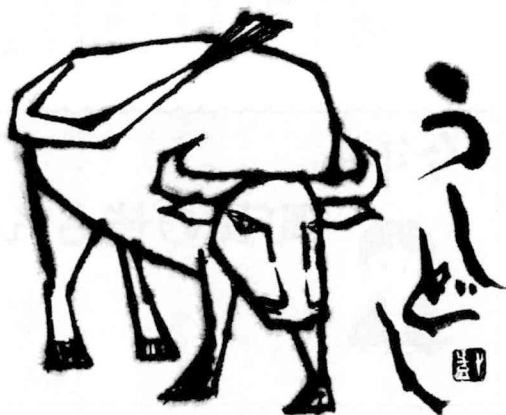
春

御来光

(町運動公園より国見山系を望む)

1985年

正月





あけましておめで



町民の皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年は一年間本当にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年を迎えましたが、今年も昨年より非常に財政的にはきびしい年であります。国内の景気の動向はゆるやかながら拡大傾向にあると言われますが、私達の感触では全くといっていいほどの実感は湧いてまいりません。

又、鎌田知事のぬくもりに満ちた県政の推進も、そのぬくもりがまだ伝わってこないのが実体です。

町民の懐を増やし、明るい町づくり、鋭意工夫をこらし、限られた財源で最も有効適切な政策を掲げていくことが行政の基本理念であり、私共にと与えられた至上命題であります。農村を取り巻く環境は極めて厳しく、その対応はなかなか難しいものがあります。

福祉の心を大切に

ふれあいと真心の町を

町議会議長 川越 二郎

道路網の整備、農林漁業の振興、商工業の活性化発展、教育の充実等、民生安定の施策は枚挙にいとまありませんが、これらを一挙に解決することはまさに至難であり、現実的には、振興計画に基づき、年次的に漸時対応してゆくことにならうかと存じます。

最近とみに増え続けて行く老人人口の増加に伴い、寝たきり老人や独居老人の在宅福祉の問題、農村の花嫁対策、青少年の健全育成等にも充分配慮し、カユイところに手の届く、キメ細かい行政の手立も忘れてはいけません。苦しいときこそ笑顔をつけない行政は町民の等しく願うところではありません。

このような観点に立ち、議会には皆さんの良識を得て、充分吟味し後顧の憂なき対応を確立して参りたい所存でございます。

二月には県知事選挙、四月には町長選挙の執行が予定されておりますが、県民として、また

町民のみなさん
あけまして
おめでとうございます
大根占町議会議員一同



とうございます



(空からみた大根占地区)



防災無線・農村婦人の家など 後期過疎計画を主軸に

町長 川邊 盛康

昭和五十九年は、町制五十周年新庁舎移転新築落成という五十八年を一つの転機とし、将来の発展への発足の年、としたいと考えておりましたが、御承知の通り国、地方を問わず臨調がらみの苦しい財政の中で終始しました。それでも、議会はじめ町民各位の御協力により、計画した事業はほとんど遂行できる見通しができた中で、新しい年を迎えることができましたことに、衷心より御礼申し上げます。

六十年度については、先般計画作成した過疎計画後期五カ年計画による、初年度としての計画を主軸として、事業執行することになります。

例えば、防災行政無線設置により、役場の連絡事項を直接皆さんの耳に入るような仕組みの設置事業、あるいは、農村婦人の家建設事業、さらには多年の懸案事項である肝属南部農地開発事業の全体計画作成の予

算獲得など、いずれも、予算確保のため努力中であり、また、論議されている行政改善については、国県に準じ町でも行政改善対策委員会を設置して、いろいろ検討してもらっており、結論がでましたらその意思を尊重して参りたいと思っております。

現在中央において、高額補助金の一率一〇％カットや補助金整理等の論議がなされていることから、本年もさらにきびしい財政運営を余儀なくされること必定と予想されます。事業執行に当りましては、私共としても最大限の努力を傾注いたしますので、各位の従来にもまさる御指導御協力を賜りますよう、切にお願ひ申し上げますと共に、皆様にとり、良い年でありますよう心から祈念申し上げます。

今年も



町民の皆さんのために

頑張ります

大根占町役場職員一同

賀正

町民として、現実を直視し将来を見極め、すばらしい執行者を選ぶことが自らの生活安定に直結することを忘れてはなりません。

今年一年私共は知恵を出し合い、福祉の心を大切にして、心のふれ合いと、真心で明るい郷土づくりに真剣に取り組む、笑顔がいつぱいの町の建設に渾心の努力を続けて参りたいと存じます。



昔ながらの製法で作られる炭

郷愁をさそう炭作り

半下石部落 白井 稔さん

冬になると暖がほしい季節、若者はストーブ・コタツが一般的ですが、昭和一ケタ生れの方にはやっぱり、ヒバチがなつかしい……そのヒバチの中の炭が半下石部落の白井林業（白井稔さん）で作られて、いま最盛期に入っています。

二キロメートル入った静かな山林の中。ここでは昔ながらの製法で木炭づくりが行われています。木炭づくりはまず山から原木のカシを切り出して、それを選別して同じ長さに切り、そして窯の中にぎっしりならべて粘土でフタをします。そのあとたき

口から火を燃して、全体的に火が廻ったら、たき口も粘土でふさぎ、火が消えるまでの十日間程度そのままにしておくと出きあがります。しかし、いい炭になるには白井さんの長年の感と経験がものを言う。この窯一つで約八十俵の炭がとれるそうで、十五キロの袋につめて、主に鹿屋方面に出荷され、一般家庭用として売られるそうです。ちなみに、値段は最高級のカシ小丸が一俵当り

タバコ収納 始まる

十二月十一日から

本町のたばこ収納が十二月十一日から始まり、毎日フル操業しています。作柄は例年に比べて、キロ当りの代金は落ちますが、重量で二十キロ位重いうことです。これは好天がつづいたことと、ある部分的に生理班点病が発生したことがあげられます。収納は根占町、田代町、大根占町の順に始まり、また、本町では昨年優秀賞を取った松坂地区の十一日から順に二十六日までつづく予定です。ちなみに根占町のキロ当り代金は千九百十六円だったそうです。



農林水産省では、本年二月一日現在ですべての農家を対象として、農業センサスを実施することとしています。昭和二十五年以来五年ごとに実施しているこの調査は、我が国の農家戸数、耕地面積、農業経営の概況など農業の現状を明らかにし、各種農業振興施策を推進するための基礎資料を提供してきました。農業は、国民生活にとって欠かすことのできない食料を供給するとともに、国土や自然環境の保全という面でも大きな役割を果たしています。しかしながら、農産物需給問題等解決しなければならぬ数多くの問題を抱えており、

各種施策の充実、強化を図っていく必要があります。すでに、需給の動向や地域の実態に即した農業生産の振興を図るとともに、その基盤となる新しい村づくりが進められているところです。今後、これらの施策を一層充実し、更に発展させていく必要がありますが、農業センサスはこのための基礎資料を提供することを使命とした非常に重要な調査です。つきましては御多忙のことと存じますが、この調査の趣旨を十分御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。なお、調査した事項は、統計を作成するためにだけ使われるもので、その他の目的例えば個人の課税等に使うことは法律で固く禁じられておりますから、ありのままをお答えくださいますようお願いいたします。



完成した厚ヶ瀬橋

本町の家計簿を公開

昭和58年度決算

歳出 28億1,955万8千円

実質単年度収支
二億一千八百六十九万二千円の
マイナス……

昭和五十八年度の本町の家計簿は歳入二十八億一千九百五十五万八千円、歳出二十七億五千二百八十七万七千円で前年に比べて歳入・歳出ともにマイナスになりました。これは老人福祉保健法施行により、老人医療費が老人保健特別会計に移行したことによる扶助費の減と積立金（前年度パイパス用地建物補償の積立金）の減少によるものです。決算収支の状況を見ると単年度収支は四千二百二十九万四千

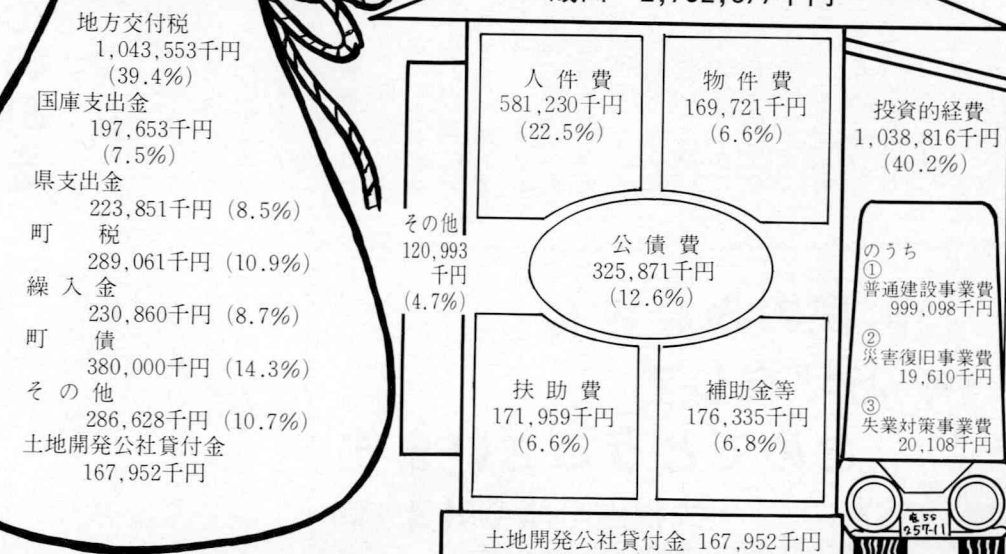
円のマイナス。また実質単年度収支も二億一千八百六十九万二千円のマイナスとなりました。しかし、これは庁舎建設による積立金の取りくずし等による一時的なもので引きつづき次年度に及ぼすものではありません。これから先、国の地方に対する見方は年々きびしく、補助金の一律カット、制約などありますが、今後行政の簡素化をはかり経費節減に努めて、健全財政運営をはかっていかなければなりません。

58年度の主な事業

庁舎建設(58年度分)	448,519,830円
厚ヶ瀬橋橋梁工事(58年度分)	62,465,328円
港湾建設負担金	50,362,000円
災害復旧費	19,609,900円
のうち（道路橋梁災害復旧）	10,458,204円
老人保健特別会計繰出金	21,916,000円

歳入 2,819,558千円

歳出 2,752,877千円



さわやか
君
西村 宗



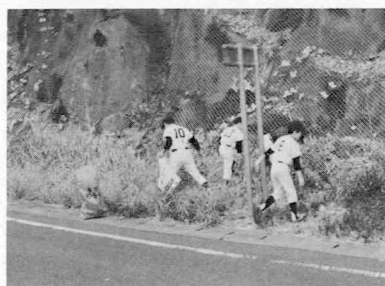
優勝旗を囲んでにっこり

大根占小学校スポーツ少年団
のソフトボールチーム「アスト
ロ」の選手三十四人と父母が十

恒例の国道空カン拾い

大根占小学校スポーツ少年団
アストロチーム

二月八日、練習の後、国道で恒
例の空カン拾いを行いました。
これはチームの年間計画であ
る奉仕活動の一環として毎年行
われているものです。
選手は三班に別れて、根占町
境の長谷からと、根占町花の木
鹿屋市境の皆倉峠から中心にむ
かって行われました。
空カンはとくに鹿屋市入口の
皆倉峠が多く、選手父母一同も
ビックリ……。
空カン拾いのあと、優勝旗を
囲んで今年の選手の活躍やエラ
ーなど、来年にむけての話し合
いがなされました。



こんなにたくさんの空カンが

親子で自然に親しもう たこを揚げよう

完全な設計でできているゲイラカイトは、だれが揚げてもよく揚がります。
それに比べて自分で作ったたこや和こは揚げるのにも工夫が必要。それだけ
に、うまく揚がったときの喜びは格別です。

簡単なビニールだこの作り方

- 市販されているゴミ袋を
下の図のような六角形に
切り取る。
- 4ミリ角の木材をセロテ
ープでとめる。
- 糸目の穴は、セロテープ
で補強する。
- たこを揚げるときは角材
のついているほうを内側
にする。



たこ揚げのコツ

- 大切なのは糸をつける位置(糸目のつけ方)です。
下図を参考に、風の強さによって工夫しよう。
- 糸は少しずつくり出そう。
- たこがクルクル回り出したら糸を出そう。

糸目のつけ方

一般的につけ方 風の強いとき 風の弱いとき



総合優勝 池田Aチーム

タイム1時間11分43秒

役場……念願の最下位脱出なる！



力走する各選手 (壱崎橋附近)



優勝旗を手にする宿利原青年団

十二月一日、暖かい陽差しを
受けて、町内一周駅伝大会が笹
原一町役場庁舎前までの九区間
二十一・八キロメートルで健脚
が競われました。
この日、一般十三チームと中
学生十チーム(うち女子チーム
二チーム)が参加して、体協長
坂元左武郎さんの合図で出発し
ました。
沿道では我が子を応援しよう
とする人や今年のビリはまた役
場だろうかと期待する人、それ
ぞれ。選手は次の選手にバトン
するまで大粒の汗をかきながら
「息切れ、まづぎれ」沿道をひ
た走りました。
結局、総合優勝に池田中が一
時間十一分四十三秒で入り、ま
た一般では宿利原青年団が一時
間十四分十七秒で堂々の一位を

獲得しました。 さて、毎年恒例のビリ競争は 根占地区信用組合が獲得し、役 場チームは念願の脱出(うしろ から三位)で選手一同は優勝し たような喜びでした。 成績は次のとおりです。		
※中学生の部		
一位 池田中	1時間11分43秒	
二位 大根占中	1時間13分30秒	
三位 宿利原A	1時間16分55秒	
※一般の部		
一位 宿利原青年	1時間14分17秒	
二位 池田OB	1時間16分19秒	
三位 消防署	1時間17分55秒	
※区間賞一般		
一区①命苦 忍 (宿利原青)		
二区①中馬 良和 (城元青)		
三区①白井 正信 (池田消防)		
四区①福岡 浩昭 (城元青)		
五区①福岡 満喜 (宿利原青)		
六区①小竹 一郎 (消防署)		
七区①中馬 善郎 (宿利原青)		
八区①木下 正人 (宿利原青)		
九区①宿利原 進 (宿利原青)		
一区①命苦 忍 (宿利原青)		
二区①中馬 良和 (城元青)		
三区①白井 正信 (池田消防)		
四区①福岡 浩昭 (城元青)		
五区①福岡 満喜 (宿利原青)		
六区①小竹 一郎 (消防署)		
七区①中馬 善郎 (宿利原青)		
八区①木下 正人 (宿利原青)		
九区①宿利原 進 (宿利原青)		
一区①命苦 忍 (宿利原青)		
二区①中馬 良和 (城元青)		
三区①白井 正信 (池田消防)		
四区①福岡 浩昭 (城元青)		
五区①福岡 満喜 (宿利原青)		
六区①小竹 一郎 (消防署)		
七区①中馬 善郎 (宿利原青)		
八区①木下 正人 (宿利原青)		
九区①宿利原 進 (宿利原青)		

日本武道館に

県代表として選ばれた

塩屋 大山 卓 郎君



「エイノ」気合いと共にケリ
ツキ……

空手の型を披露してくれた大
山卓郎君。塩屋部落の大山修司
さんの長男。

空手は小学生の二年生から五
年生まで大根占電報電話局に勤
務していらつしやうした味園さん
に教った。しかし、中学時代は

野球部に籍を置き、鹿屋工業高
校に入学してから空手部に入部
苦しい一年間をたえ、たくま
しく育って、これから飛躍の時
をむかえた。
十月の県新人大会では鹿屋工
業高校同志で優勝戦になり、ま
たこの相手を三対二で破り、堂
々の一位に輝きました。
今年の三月には日本武道館で
選抜大会が開かれる予定。それ
に鹿屋島県代表ということで参
加。もしこの大会でベスト10に
入ることができればカナダ親善
大会に出場する権利が得られる
それを目指して毎日練習に余念
がない。

※四月十四日

大根占町長選挙

※二月三日

鹿児島県知事選挙 が行われます。

大根占町選挙管理委員会

大晦日から正月にかけての行事

(河上神社) 宮司……福 岡 国 夫
年越し参拝11時頃から
元旦祭……AM10時から
3 日……御 神 幸 祭
7 日……七 草 祭

(洲上神社) 宮司……福 留 節
年越し祭り11時頃から
元旦祭……AM12時から3時頃まで
7 日……七 草 祭

(旗山神社) 宮司……前 迫 文 哉
年越し参拝11時頃から
2 日 安水立神社で苗代種まき行事
……9時頃から
3 日 半下石この坂……山 の 幸 祭
4 日 高尾神社……海 の 幸 祭
が開かれます。

(浄教寺)
大晦日から元旦にかけて参拝、元旦から
3日間8時から修正会が開かれます。

(真正寺)
大晦日から元旦にかけて参拝、法要が開
かれます。

(天松院)
大晦日から元旦にかけて参拝、元旦から
3日間、大般若祈祷会が開かれます。

(天理教 大根占分教会)
元 日……元 旦 祭
13 日……月 次 祭
が開かれます。

(大根占カトリック教会)
元 旦……10時から初ミサが行われます。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません



1985

今年は
国際青年年

未来を築く——それはいつの時代も青年の役割です。
家庭、地域社会、国際社会など青年を取り巻く社会はさまざまですが、青年が自らの意思、判断、活動によって積極的に社会参加を進めていくことが求められています。
昭和六十年は国連の定めた国際青年年。
「参加・開発・平和」というテーマのもとに青年が社会参加をどのように進め、また自分たちに与えられた課題にどのように取りくむべきか——国際青年年への青年の主体的、積極的な参加が期待されています。

凧揚げ大会

- と き 1月13日(日)
午後1時から
- ところ 町運動公園

(お正月にお父さんやお母さんと一緒に作りましょう。)
(たこは電線ののないところであげましょう。)

集まれ20歳!

～昭和60年成人式～



- ★と き 1月3日(木)
午前10時から
- ★ところ 町農村勤労福祉センター

◎ 平服で参加しましょう